

特 集

災害対策・ 対応の 最前線を探る

支援に必要な視点とは何か 

災害の多発する昨今、とくに被災自治体では多岐にわたる支援を統率する受援体制の構築が喫緊の課題となっている。保健師活動と多くの保健医療支援チーム活動との関係、組織内の指揮命令調整、資源需給のマッチングなどは、本来、支援チームの課題というより、被災した受援自治体の課題である。本特集では、先進的な取り組みから受援に必要な具体的な視点とは何かを探る。

- **災害時に求められる受援体制構築** 次の災害に備えるために
- [高知県の取り組み] 災害支援の教訓を踏まえた受援体制構築の強化
- [長崎県の取り組み] DHEAT 人材育成と受援体制構築
- [神戸市の取り組み] 災害発生後から応急対策期における保健師活動と受援
これまでの災害支援活動からの受援準備
- [むかわ町の取り組み]
平成 30 年北海道胆振東部地震の経験を踏まえた新たな受援体制構築
- [大阪府富田林保健所の取り組み]
災害時の地域保健支援・受援体制構築に向けた管内市町村との連携
- [枚方市保健所の取り組み] 災害時における健康危機管理
- [寝屋川市保健所の取り組み] 保健医療分野における災害対策の取り組みと今後の展望